

2022年度卒業・修了生対象 就職状況調査 回答集計結果

■調査対象・期間

調査対象者：2022年度卒業・修了生（退学者除く）

調査期間：2023年12月23日～2024年2月末

■送付・回答人数

学科・研究科	対象者数	不達数	不達率	回答者数	回答回収率
看護学科	94	0	0.0%	29	30.9%
栄養学科	86	0	0.0%	37	43.0%
助産研究科	14	0	0.0%	8	57.1%
看護栄養学研究科	7	0	0.0%	3	42.9%
合計	201	0	0.0%	77	38.3%

※回収率は、不達数（住所不明等で返送され、以後連絡のつかないもの）を除き算出

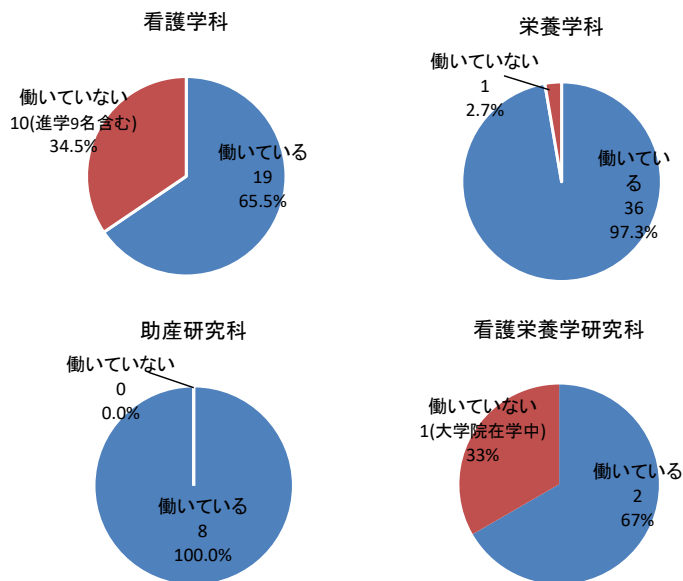
■回答集計結果

問1. 在学時の所属をお知らせください。

学科・研究科	回答者数	回答率
看護学科	29	30.9%
栄養学科	37	43.0%
助産研究科	8	57.1%
看護栄養学研究科	3	42.9%
合計	77	38.3%

問2. 現在、あなたは働いていますか。

学科・研究科	①はい（働いている）		②いいえ（働いていない）		回答者数
	回答数	回答率	回答数	回答率	
看護学科	19	65.5%	10	34.5%	29
栄養学科	36	97.3%	1	2.7%	37
助産研究科	8	100.0%	0	0.0%	8
看護栄養学研究科	2	66.7%	1	33.3%	3
合計	65	84.4%	12	15.6%	77



問3. [問2で ①はい（働いている）と答えた方] ① 卒業・修了時と同じ職場 ② 卒業・修了時とは別の職場

学科・研究科	①卒業・修了時と同じ職場		②卒業・修了時とは別の職場		回答者数
	回答数	回答率	回答数	回答率	
看護学科	19	100.0%	0	0.0%	19
栄養学科	34	94.4%	2	5.6%	36
助産研究科	8	100.0%	0	0.0%	8
看護栄養学研究科	1	50.0%	1	50.0%	2
合計	62	95.4%	3	4.6%	65

問4. [問3で ② 卒業・修了時とは別の職場と答えた方] 転職時期・理由をお知らせください。

転職時期・理由
2024年2月1日 前職でのパワハラ、適応障害になり退職したため
2023年9月に、鬱病になり退職したため
2023年11月頃、家族のサポートのため転職

問5. [問2で ②いいえ と答えた方]、差し支えなければ、現在、働いていない経緯(転職時からの経緯等)をお知らせください。

【進学】看護学科（9名）

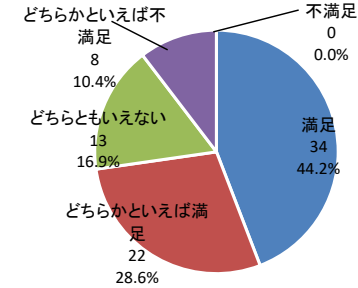
【その他】看護学科（1名）栄養学科（1名）、看護栄養学研究科（1名）

- ・看護師国家試験の浪人
- ・持病の治療のため
- ・天使大学院在学中

問6. [全員] 入職前（在学4年次）、自分自身の就職先等の進路に満足していましたか。

学科・研究科	①満足		②どちらかといえば満足		③どちらともいえない		④どちらかといえば不満足		⑤不満足	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
看護学科	13	44.8%	9	31.0%	5	17.2%	2	6.9%	0	0.0%
栄養学科	15	40.5%	11	29.7%	7	18.9%	4	10.8%	0	0.0%
助産研究科	5	62.5%	1	12.5%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%
看護栄養学研究科	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	34	44.2%	22	28.6%	13	16.9%	8	10.4%	0	0.0%

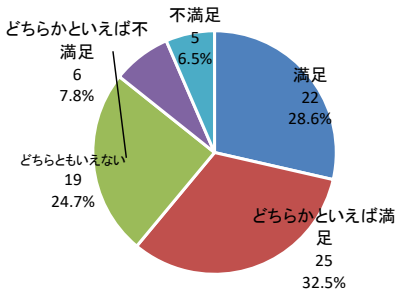
全体



問7. [全員] 就職後の、業務内容等に満足していますか。

学科・研究科	①満足		②どちらかといえば満足		③どちらともいえない		④どちらかといえば不満足		⑤不満足	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
看護学科	11	37.9%	7	24.1%	8	27.6%	1	3.4%	2	6.9%
栄養学科	9	25.0%	14	38.9%	8	22.2%	3	8.3%	3	8.3%
助産研究科	1	12.5%	3	37.5%	2	25.0%	2	25.0%	0	0.0%
看護栄養学研究科	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	22	28.6%	25	32.5%	19	24.7%	6	7.8%	5	6.5%

全体



問8. [全員] 本学の就職活動支援の中で進路選択や就職活動において、役に立ったことは何ですか。（複数回答可）

【看護学科】

質問項目	回答者数	割合
①就職支援講座	2	6.9%
②受験報告書の閲覧	20	69.0%
③就職相談員による就職相談	12	41.4%
④模擬面接練習等	20	69.0%
⑤履歴書・エントリーシートの添削	21	72.4%
⑥授業（正課）	2	6.9%
⑦学生支援教員等による面談等	13	44.8%
⑧その他	1	3.4%

⑧その他：母性の先生の志望理由書の添削。

【栄養学科】

質問項目	回答者数	割合
①就職支援講座	4	10.8%
②受験報告書の閲覧	20	54.1%
③就職相談員による就職相談	17	45.9%
④模擬面接練習等	21	56.8%
⑤履歴書・エントリーシートの添削	24	64.9%
⑥授業（正課）	2	5.4%
⑦学生支援教員等による面談等	8	21.6%
⑧その他	1	2.7%

⑧その他：学務課の方々が優しくしたこと。

【助産研究科】

質問項目	回答者数	割合
①就職支援講座	1	12.5%
②受験報告書の閲覧	2	25.0%
③就職相談員による就職相談	2	25.0%
④模擬面接練習等	3	37.5%
⑤履歴書・エントリーシートの添削	1	12.5%
⑥授業（正課）	2	25.0%
⑦学生支援教員等による面談等	0	0.0%
⑧その他	1	12.5%

⑧その他：就職のガイドブックをもらえたのが良かった。

【看護栄養学研究科】

質問項目	回答者数	割合
①就職支援講座	1	33.3%
②受験報告書の閲覧	2	66.7%
③就職相談員による就職相談	3	100.0%
④模擬面接練習等	3	100.0%
⑤履歴書・エントリーシートの添削	2	66.7%
⑥授業（正課）	0	0.0%
⑦学生支援教員等による面談等	1	33.3%
⑧その他	0	0.0%

問9. [全員] 本学の教育は、現在、役に立っていますか。

1) 専門分野に関する知識と技術

学科・研究科	①役に立っている		②どちらかといえば役に立っている		③どちらともいえない		④どちらかといえば役に立っていない		⑤役に立っていない	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
看護学科	17	58.6%	9	31.0%	2	6.9%	0	0.0%	1	3.4%
栄養学科	21	56.8%	9	24.3%	6	16.2%	1	2.7%	0	0.0%
助産研究科	4	50.0%	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
看護栄養学研究科	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	43	55.8%	24	31.2%	8	10.4%	1	1.3%	1	1.3%

2) コミュニケーション能力

学科・研究科	①役に立っている		②どちらかといえば役に立っている		③どちらともいえない		④どちらかといえば役に立っていない		⑤役に立っていない	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
看護学科	15	51.7%	12	41.4%	1	3.4%	0	0.0%	1	3.4%
栄養学科	16	43.2%	10	27.0%	11	29.7%	0	0.0%	0	0.0%
助産研究科	4	50.0%	3	37.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
看護栄養学研究科	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	36	46.8%	26	33.8%	14	18.2%	0	0.0%	1	1.3%

3) 問題提起、問題解決能力

学科・研究科	①役に立っている		②どちらかといえば役に立っている		③どちらともいえない		④どちらかといえば役に立っていない		⑤役に立っていない	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
看護学科	13	44.8%	11	37.9%	5	17.2%	0	0.0%	0	0.0%
栄養学科	12	32.4%	15	40.5%	10	27.0%	0	0.0%	0	0.0%
助産研究科	4	50.0%	3	37.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
看護栄養学研究科	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	30	39.0%	30	39.0%	17	22.1%	2	2.6%	0	0.0%

問10. [全員] 現在の状況（職場での充実度、悩み、後輩へ伝えたいこと等）をお知らせください。

【看護学科】

■現在、業務、職場（進学先）について満足度が高いもの

■現在、業務、職場（進学先）について満足度が低いもの

- ・人間関係について、とても難しく感じています。
- ・働いてみると、自分のやりたかった看護と現実のギャップに悩むことが多く、ストレスがあります。

■その他

- ・大病院ならではの教育があり、救急科で学べることは幅広く様々ですが看護師の数が足りないことや患者さんやその家族に対しての看護観を持っていても思い通りにいかないことが多いです。その中で自分ができることを探すことや、優先順位を考えながら業務を遂行し一日の時間のスケジュールを考えながら進めていく能力が必要です。これは、実習でも学べることだと思いますので、ぜひ業務の中で優先順位や時間のスケジュールを意識してみると入職してからスムーズに業務が遂行できるかなと思います。もちろん、思い描いていたような楽しい職場というより厳しい事も言われれば辛いこともありますようになるようにしかなりません。自分の成長を思っで深く怒られる。理不尽なことがあったら、この人はそんなふうにはか言えない人で仕方がないと諦めることも必要です。（笑） 応援しています。
- ・給料（賞与含む）と休み（有給の日数）が満足いくか考えたほうが良い。
- ・進学希望者は、3年生の後期には目星をつけ、早め早めに行動しておくとい。小論文はすぐに書けるようになるものではないと思うので、進学、就職にかかわらず、2年生のうちに「小論文対策セミナー」を受講しておく余裕ができた。

【栄養学科】

■現在、業務、職場（進学先）について満足度が高いもの

- ・自分の進路選択に大変満足しています。病院就職は狭き門ですが、可能性を捨てずに病院志望の後輩たちが増えて欲しいと思っています。
- ・就職活動はかなり難航しましたが、今は周りの方々に恵まれ楽しく仕事できています。自分の希望ではない職場だったとしてもその場所できちんと頑張ってみようということがあると思います。応援しています。
- ・本当に自分のやりたかったことができています。多くのことを学ばせていただけている環境がありたく、職場の上司にとっても感謝しています。後輩へは、学校の学びが必ず生かされる時がくるため、わからないことはとことん先生に聞くこと、友達と助け合って人と人との繋がりを大切にしてほしいと伝えたいです。

■現在、業務、職場（進学先）について満足度が低いもの

- ・入職後に就業環境が充実していないことに気が付き後悔している、事前に出来るだけ情報を収集する方がよい。
- ・保育園は新卒で入るところではありません(個人的な意見です)。病院や福祉施設の方が学校で学んだことを生かせると思います。

■その他

- ・入社前に思っていたような管理栄養士としての業務はほとんどできず、店舗運営の業務が多い。(店舗によると思います)。健常者の健康面・栄養面に関する勉強会が定期的に行われるため、より幅広く栄養の知識を得ることが出来ます。また、店舗での管理栄養士活動は良くも悪くも自分次第のため、工夫を凝らして管理栄養士の存在を周知したり栄養相談に結びつけるための取組を行えるところは面白いと感じます。逆に人手の足りない店舗であれば管理栄養士の活動が難しいです。
- ・委託給食会社に就職を希望する皆さんは、年間日数や給与を比べ自身満足できるか、人手不足でないかなどを働いている先輩方から聞いてみると良いと思います。事業所によってはまだ栄養士業務ができていない方もいます。将来自分がどうなりたいかを明確化することが重要だと感じました。
- ・専門職を学ぶ学部に入ったことで、その道に進むことが全とて考えず、自分はどんなことをしたいのかを具体的に考えた方がよい職場に巡り合えると思います。
- ・小学校で栄養教諭として働いています。栄養教諭は大学で勉強した専門知識を活用している感覚はごくわずかです。また、教職課程を選択し準備を重ねてきたはずと思い入職しましたが、実際の業務は幅広く、多くを入職してから学習しなければなりません。運が良ければフォローアップもしていただけますが、叶わない環境の人もあります。教職課程で身につけられる学習をぜひ後輩のために実施していただければと思います。札幌市の栄養教諭は素敵な方ばかりです。その点は安心して目指していただければと思います。最後に、天使大学での学生生活は本当に楽しい時間でした。大変お世話になりました。これからも学生のための天使大学でい続けてくださいますようお願いいたします。
- ・大学病院での栄養士業務は分担制で年の近い先輩も多いところがメリットです。デメリットは分担性ゆえに個人の業務の能力に限界があるところ、人手不足による正社員の残業の多さです。一人で発注もトレーチェックもすべて担うわけではないので良し悪しがあるかと思います。

【助産研究科】

■その他

- ・私は助産師なのに産科ではなく、まず8ヶ月婦人科での勤務が始まりました。思うような始まりでなくても得られるものがたくさんあることを伝えたいです。
- ・妊婦から産婦、褥婦、新生児まで幅広く受け持たせていただき、充実していますが緊張感も同くらいあります。技術やアセスメントで悩んだときは抱えこみ過ぎないで先輩に相談してチームで解決することも大切だということを実感しているので、疑問点はそのままにしないように意識していくと自分の成長につながっていくと思います。皆さんも頑張ってください。

【看護栄養学研究科】

■その他

- ・国試の勉強は就活、受験に向けて早めに始めておくといいと思います。